

会 議 録

1. 会議の名称 高齢者保健福祉推進委員会
2. 開催日時 令和3年12月20日（月） 13時00分～14時30分
3. 開催場所 熊取ふれあいセンター 1階 健康づくり室
4. 議題 案件1 地域密着型サービス事業者公募に係る結果の報告について
 案件2 総合事業の再構築に係る取組みについて
 案件3 その他
5. 公開・非公開の別 公開
6. 傍聴者数 0人
7. 審議等の概要
 案件1 地域密着型サービス事業者公募に係る結果の報告について
 ○事務局説明
 ○審議結果
 ・事業者の公募及び選考の結果を報告
 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス→応募事業者なし
 認知症対応型通所介護サービス→1事業者応募、選考の結果、基準点に達しな
 かったため、選考には至らず。
 ・以下のとおり、質疑、意見があった。
 ・応募したサービスは必要なものだと考えているが、今後どのように対応して
 いくか。
 →必要な方には近隣の市町村のサービスに繋げていきながら、再公募について
 検討していく。
 ・応募がなかった原因について把握しているか。
 →ひとつ今回の反省点としては公募の期間が短かったというところがある。も
 うひとつの原因としては、地域密着型サービスということで利用者が限定さ
 れることから、採算性が事業所としてネックだったのではと考えている。今
 後、今回把握した課題をどうクリアしていくかを考えたうえで再公募の検討
 をしていきたい。

案件2 総合事業の再構築に係る取組みについて

○事務局説明

○審議結果

- ・以下のとおり、質疑、意見があった。
 - ・国を含め、団塊ジュニア世代が65歳になる2040年を見据えているが、65歳になっても元気で働いている人も多い。そのような人はひまわりドームを使う人やフィットネスクラブの利用したい人もいると思う。介護を実際に使う人が多くなる年齢層も考慮しながら事業を展開していくことが必要と考える。
- 介護サービスは80歳を超えると使う人が増えていき、85歳を超えるとピークになり、団塊の世代が75歳になってからの10年間で重要と考えている。そして、軽度のうちに機能の改善に取り組むことで元の生活に戻ることができる。生活に支障がでてきて窓口に来られた際に丁寧にアセスメントを行い、その方の状態に合った介護予防のサービスや場所につないでいく。
- ・高齢者が元気であるために、65歳以上が働くことができる仕組みがあればいいと思う。
- ・緩和型サービスについて、研修を受けて就職につながった人はいるか。
- 昨年度は新型コロナウイルスの影響で研修を実施できていないが、シルバー人材センターが実施している訪問型のサービスに従事している方については全てそれまでの研修を受けた方である。今年度実施する研修では受講者と事業所のマッチングについても検討しており、今後、その方法について事業所の意見も聞いていく。

案件3 その他

○事務局より次回委員会について案内

8. 審議会の情報	名称	高齢者保健福祉推進委員会
	根拠法令等	附属機関条例 高齢者保健福祉推進委員会規則
	設置期間	平成18年4月1日～
	所掌事項	(1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定又は見直しに係る調査及び検討に関する事務、並びに目標達成状況の点検及び進捗管理に関する事務。 (2) 地域密着型サービスを提供する事務所の指定やサービスの指定基準及び介護報酬の

設定等地域密着型サービスの運営に関する事務。

(3) 地域包括支援センターの適切な運営、公正中立性の確保、その他センターの円滑かつ適正な運営に関する事務。

委員数

18名以内

9. 担当課

介護保険課